

# 大学院共通科目の履修について (2024年度入学生対象)

本大学院では学部教育から大学院教育へのスムーズな接続を図るとともに、大学院生に共通して求められる知識・能力等を獲得させることを目的に大学院共通科目を設置しています。

種別	科目名	担任者	開講学期・曜限	時間割コード
基盤教育	学術リテラシー基礎(人文)	二階堂善弘	春・月3	98941
	学術リテラシー基礎(社会)	高 東也	春・水2	91151
	修士キャリアデザイン	安川直志/安川志津香	春・火3	91152
	アカデミックライティング	中澤務/金田純平/張曉紅 /上島洋一郎	春・火5	90922
	研究科提供科目(詳細は Web 履修ガイドで確認)			
日本文化・ 社会関連	研究科提供科目(詳細は Web 履修ガイドで確認)			
研究科横断	研究科提供科目(詳細は Web 履修ガイドで確認)			
	Fundamental Global Study (SDGs and Global Collaboration)	池田佳子	春・月5	90924
	Advanced Global Study (Global Citizenship)	池田佳子	秋・月5	90925

- ※1) 大学院共通科目の履修を希望する場合は、履修登録期間(4月2日(火)～4日(木))もしくは、履修変更期間(4月10日(水)、4月11日(木))に教務センター窓口で申請してください。
- ※2) 年度により、開講科目に変更がある場合があります。また、開講されない年度がありますので、Web履修ガイド上の各研究科の時間割を確認してください。
- ※3) 履修する授業科目は、単位の取り扱いは研究科により異なりますので「大学院要覧」で確認してください。

## 講義概要

### ○学術リテラシー基礎(人文)

#### 授業概要 / Course Description

この授業は、大学院での研究をスタートするにあたって、必ず身につけておかねばならない基本的な態度とスキルの修得をめざします。

#### 授業計画 / Course Content

- |     |               |     |                |
|-----|---------------|-----|----------------|
| 第1回 | イントロダクション     | 第5回 | 学術コミュニケーションと学会 |
| 第2回 | 学習と研究         | 第6回 | 学術論文の実際        |
| 第3回 | 参考資料の扱い       | 第7回 | コンプライアンスとは     |
| 第4回 | ネットワークとデータベース | 第8回 | まとめ            |

### ○学術リテラシー基礎(社会)

#### 授業概要 / Course Description

この授業では、社会科学系の研究論文の書き方を包括的に学ぶ。具体的には、どのように研究アイデアを探し、どのような手法で分析を行うかを決め、そして分析結果をまとめ、研究論文として書き上げるという一連の過程を学んでいく。修論・卒論を控えた学生や、学術雑誌に投稿する研究論文を執筆中の若手研究者を対象にした授業である。

#### 授業計画 / Course Content

- 第1回：研究とはなにか
- 第2回：研究アイデアを探す
- 第3回：研究計画書を作成する
- 第4回：分析結果を図表で表す
- 第5回：研究論文を書く
- 第6回：研究論文を発表する
- 第7回：学術雑誌に投稿する
- 第8回：生成AIと研究倫理

## ○修士キャリアデザイン

### 授業概要 / Course Description

研究者としてのキャリアをスタートするにあたり、ワークキャリアとしての『学びと研究への取り組み方』およびライフキャリアとしての『生活の在り方』は今後の人生の両輪となる。本科目は自らの将来を見据えていくうえで、①キャリアの基本的な考えと重要性を理解する、②自己理解に基づいて可能性を見出し、意思決定する、③自らのキャリア設計能力を高め、実現に向けての行動を促すことを目的とする。

### 授業計画 / Course Content

- (1) キャリアとは何か（概論・用語解説・キャリアモデル）
- (2) 私のキャリア/大学院に進学した理由（自己分析①・目的再認識）
- (3) 自分の将来を創造する場（働く本質・現実理解）
- (4) 私の学び・研究と社会（貢献・社会との接続・職業探索）
- (5) 研究と職業（内的キャリア分析）
- (6) 私の棚卸（自己分析②・意欲喚起）
- (7) 大学院生活をキャリアデザインする（行動計画）
- (8) 生涯キャリア発達と今後の見通し（グランドデザイン・変化対応）

## ○アカデミックライティング

### 授業概要 / Course Description

本授業では、①学術的な論文やレポートを執筆する際に求められるアカデミックライティングの技法（文章の論理的な構造、情報収集・整理・文献読解の仕方、論文の論理的な書き方、論文で扱う表現）と②論文をよりよくするためのピアラーニングの技法を習得するものです。①では、修士課程レベルに求められる学会発表や論文誌への投稿を目指す大学院生向けの学術的文章力を育むための技法に関する講義、適宜演習を行います。また②では、大学院生同士や学部生や後輩の執筆した論文を互いにレビューし合うことで、文章をよりよくするための方法を提案できる力の向上を目指します。他者の論文を批判的に読み、その改善点を提示するピアレビュー力を育むことで、自らの文章も批判的に読み解き、改善する力を培います。

### 授業計画 / Course Content

- |                              |                           |
|------------------------------|---------------------------|
| 第1回「オリエンテーション」               | シリーズⅢ 論文で扱う表現             |
| シリーズⅠ 情報の扱い方                 | 第10回「論文の文章表現について考える」      |
| 第2回「研究の進め方・情報の集め方」           | 第11回「日常語と専門語」             |
| 第3回「文献の読み方」                  | 第12回「表現における事実と意見」         |
| 第4回「発表資料の作り方」                | シリーズⅤ ピアラーニング             |
| 第5回「学術論文の構成」                 | 第13回「ピアレビューの理論と実践」        |
| 第6回「先行文献の扱い方」                | 第14回「ピアレビューのまとめとふりかえり（1）」 |
| シリーズⅡ 文章の組み立て方               | 第15回「ピアレビューのまとめとふりかえり（2）」 |
| 第7回「調査・分析から文章へ」              |                           |
| 第8回「アウトラインを作る（序論・本論・結論の書き方）」 |                           |
| 第9回「パラグラフ・ライティング」            |                           |

## ○ Fundamental Global Study (SDGs and Global Collaboration)

### 授業概要 / Course Description

This class uses both Japanese and English language for communication. Those who register to this class are expected to have at least B2 level (CEFR) of English proficiency level, so that they are able to follow the lecture conducted in English.

In January 1st of 2016 the United Nations officially released the 2030 Agenda for Sustainable Development which officially launched the 17 Sustainable Development Goals (SDGs). In less than 10 years from now, the SDGs will be a key to generate global activities to end all forms of social wicked problems, in order to fight inequalities and reduce climate change.

This course will examine the relationship between SDGs, community problems and current sustainable and social solutions to serve as a starting point for developing new solutions that might serve as the business or social cases.

This class consists of a series of lectures and a COIL (Collaborative Online International Learning) experience, in which students will communicate with the students overseas through PBL (project-based learning). The class expects the students to be active participants who take an initiative on their own learning. Some of the universities which this class may be collaborating with in the COIL component are located in the United States, Australia, India, Spain, Ghana, Jordan, and Chile.

This course is going to utilize zoom and LMS to enable all the international students from different countries and regions to study together.

This class may adopt COIL practice (Collaborative Online International Learning), in which students will connect online with overseas students to work collaboratively to complete a project. COIL aims to provide learning opportunities for the students to gain desirable employability qualities, such as intercultural competency, digital literacy, leadership skills, ect. \*For more information about COIL for this course, please directly contact the instructor or ask them at the first class.

本科目は「COIL (Collaborative Online International Learning : 海外との協働学習)」を取り入れる場合があります。COIL では海外の学生とオンラインで繋がり、チームプロジェクト等を通して協働学習を行います。COIL を実践することで、異文化理解力、デジタルリテラシー、リーダーシップ力等これからのグローバル人材が必要とされる能力の向上を目的としています。※COIL を実施するかどうかは、担当講師に直接問い合わせるか、授業初日に確認してください。

### 授業計画 / Course Content

Week 1-2 Understanding SDGs (What they are, why important, what are the goals specified, which fields are these goals related to, who are the stake holders, etc.)

Week 3-6 Exploring the goals in details

Focus : Global Concerns for Migration |International mobility

Focus : Environmental challenges

Focus: International Politics and SDGs

Focus: Business world and SDGs

Week 7-11 COIL with overseas peers

Possible Theme: DEI (Diversity , Equity, and Inclusion)

Week 12-14 Case Study independent research

Week 15 Final presentation

There may be some guest speakers invited during the course

## ○ Advanced Global Study (Global Citizenship)

### 授業概要 / Course Description

This class uses both Japanese and English language for communication. Those who register to this class are expected to have at least B2 level (CEFR) of English proficiency level, so that they are able to follow the lecture conducted in English.

Global Citizenship is the knowledge of nations, cultures, or societies beyond one's own country. The recognition of how interaction, interdependence, and inequity among diverse geographical, social, political, or economic systems have shaped historical and contemporary global challenges and opportunities; and the skills to engage with the responsibilities of informed citizenship in a complex, interdependent, and changing world.

This class consists of a series of lectures and a COIL (Collaborative Online International Learning) experience, in which students will communicate with the students overseas through PBL (project-based learning). The class expects the students to be active participants who take an initiative on their own learning. Some of the universities which this class may be collaborating with in the COIL component are located in the United States, Australia, India, Spain, Ghana, Jordan, and Chile.

This course may be taught via zoom depending on the situations in which the international students face under the COVID-19 impact.

### 授業計画 / Course Content

Each week tackles a particular angle or viewpoint we can use to look at the idea of global citizenship, and the challenges we face as a global community.

Week 1-2 What does it mean to be a global citizen?

What connections to the global community do you see around you on a daily basis?

Week 3-6 Cultural and political global issues and challenges

Equality and Difference: how should we approach global challenges?

Peace and Conflict: the challenges of global responses and responsibilities

Week 7-11 COIL with overseas peers

Week 12-14 Case Study independent research

Week 15 Final presentation

## 2024年度 大学院共通科目 開講科目一覧

種別	科目名	2024担当者	開講
基盤教育	学術リテラシー基礎(人文)	二階堂 善弘	教育推進部
	学術リテラシー基礎(社会)	高 東也	
	修士キャリアデザイン	安川直志/安川志津香	
	アカデミックライティング	中澤務/金田純平/張曉紅/上島洋一郎 木下響子	
	総合演習 (ビジネス英語)	山田 正義	法学研究科
	日本語ライティング	古川 智樹	理工学研究科
	アカデミックライティング1 (英語)	クリス・ラモンダ	外国語教育学研究科
	アカデミックライティング2 (英語)	トッド・ジェームス・アレン	
	アカデミックプレゼンテーション (英語)	サイモン・ハンフリーズ	
	アカデミック外国語 (英語) (1) A	マシュー・バーデルスキー	東アジア文化研究科
	アカデミック外国語 (英語) (1) B	ゴヴォルノワ アリョーナ	
	アカデミック外国語 (英語) (2) A	ジェレミー・ウッド	
	アカデミック外国語 (英語) (2) B	ジェレミー・ウッド	
日本文化・社会関連	国際協働特殊研究 (日本の法と社会) 講義	角田 猛之	法学研究科
	Japanology	アレキサンダー・ベネット	理工学研究科
研究科横断	国際政治学研究 講義	大津留 智恵子	法学研究科
	国際協働特殊研究 (国際政治学) 講義	大津留 智恵子	
	国際法研究 講義	西 平等	
	国際協働特殊研究 (国際法) 講義	西 平等	
	知的財産法研究 講義	山名 美加	
	国際協働特殊研究 (知的財産法) 講義	山名 美加	
	国際政治経済論研究 講義	吉沢 晃	
	国際協働特殊研究 (国際政治経済論) 講義	吉沢 晃	
	英語学研究 (1) A 講義	熊谷 学而	文学研究科
	英語学研究 (1) B 講義	野々宮 鮎美	
	英語学英文学研究 (1) A 講義	野々宮 鮎美	
	英語学英文学研究 (1) B 講義	熊谷 学而	
	英語学英文学研究 (2) A 講義	広瀬 佳司	
	英語学英文学研究 (2) B 講義	広瀬 佳司	
	比較文学研究 A 講義	ルチャーナ・カルデイ	
	比較文学研究 B 講義	高橋 美帆	
	英米文化研究 (1) A 講義	小林 剛	
	英米文化研究 (1) B 講義	小林 剛	
	日本上代文学研究 A 講義	村田 右富実	
	日本上代文学研究 B 講義	村田 右富実	
	日本中古文学研究 A 講義	松本 大	
	日本中古文学研究 B 講義	松本 大	
	日本中世文学研究 A 講義	大島 薫	
	日本中世文学研究 B 講義	大島 薫	
	日本近世文学研究 A 講義	山本 卓	

種別	科目名	2024担当者	開講
研究科横断	日本近世文学研究B 講義	山本 卓	文学研究科
	日本近代文学研究A 講義	増田 周子	
	日本近代文学研究B 講義	増田 周子	
	国語学研究A 講義	日高 水穂	
	国語学研究B 講義	日高 水穂	
	日本古典籍研究A 講義	岸本 理恵	
	日本古典籍研究B 講義	岸本 理恵	
	日本文学文献研究A 講義	大島 薫	
	日本文学文献研究B 講義	滝川 幸司	
	日本近代文学文献研究A 講義	関 肇	
	日本近代文学文献研究B 講義	関 肇	
	日本地域文学研究A 講義	山崎 正純	
	日本地域文学研究B 講義	山崎 正純	
	日本文献情報処理研究A 講義	山際 彰	
	日本文献情報処理研究B 講義	山際 彰	
	古代国語史研究A 講義	乾 善彦	
	古代国語史研究B 講義	乾 善彦	
	近代国語史研究A 講義	森 勇太	
	近代国語史研究B 講義	森 勇太	
	西アジア史研究A 講義	橋爪 烈	
	西アジア史研究B 講義	橋爪 烈	
	東西交渉史研究A 講義	森部 豊	
	東西交渉史研究B 講義	森部 豊	
	文化財科学研究A 講義	アシュラフ・ユーセフ・エワイス	
	文化財科学研究B 講義	西川 明彦	
	ドイツ語コミュニケーション(1)A 講義	ローベルト・F. ヴィットカンプ	
	ドイツ語コミュニケーション(1)B 講義	ローベルト・F. ヴィットカンプ	
	ドイツ語コミュニケーション(2)A 講義	ローベルト・F. ヴィットカンプ	
	ドイツ語コミュニケーション(2)B 講義	ローベルト・F. ヴィットカンプ	
	ドイツ語学研究A 講義	工藤 康弘	
	ドイツ語学研究B 講義	工藤 康弘	
	フランス文学研究(1)A 講義	塚島 真実	
	フランス文学研究(1)B 講義	塚島 真実	
	フランス文学研究(2)A 講義	友谷 知己	
	フランス文学研究(2)B 講義	友谷 知己	
	フランス文学研究(3)A 講義	友谷 知己	
	フランス文学研究(3)B 講義	友谷 知己	
	フランス文学研究(4)A 講義	奥 純	
	フランス文学研究(4)B 講義	奥 純	
	フランス語フランス文学研究A 講義	リコ・ヨコヤマアドリアナ	
	フランス語フランス文学研究B 講義	リコ・ヨコヤマアドリアナ	
	自然地理学研究A 講義	黒木 貴一	
	自然地理学研究B 講義	浅田 晴久	
	人文地理学研究A 講義	松田 隆典	
	人文地理学研究B 講義	松田 隆典	
	歴史地理学研究A 講義	山近 博義	
歴史地理学研究B 講義	松井 幸一		
地誌学・地理教育研究A 講義	吉田 雄介		
地誌学・地理教育研究B 講義	吉田 道代		
地理学史研究 講義	筒井 由起乃		

種別	科目名	2024担当者	開講
研究科横断	地域環境学研究 A 講義	高田 晋史	文学研究科
	地域環境学研究 B 講義	渡邊 俊	
	経済地理学研究 講義	水野 真彦	
	文化地理学研究 A 講義	佐藤 廉也	
	文化地理学研究 B 講義	于 亜	
	都市地理学研究 A 講義	石川 雄一	
	都市地理学研究 B 講義	土屋 純	
	第四紀学研究 講義	額田 雅裕	
	自然環境学研究 講義	前迫 ゆり	
	人文地理学特別研究 講義	吉田 国光	
	自然地理学特別研究 講義	手代木 功基	
	地域調査研究 A 講義	筒井 由起乃	
	地域調査研究 B 講義	筒井 由起乃	
	文化共生学研究 (1) A 講義	青木 敬	
	文化共生学研究 (1) B 講義	溝井 裕一	
	文化共生学研究 (2) A 講義	青木 敬	
	文化共生学研究 (2) B 講義	森 貴史	
	映像メディア研究 A 講義	馬 定延	
	映像メディア研究 B 講義	馬 定延	
	アフリカ経済論研究 I 講義	ペドロ・ラポウズ	経済学研究科
	情報メディア法研究	水谷 瑛嗣郎	社会学研究科
	技術経営論	小林 磨美	理工学研究科
	英語基準コース (遺伝子工学の歩みと最先端)	日下部 りえ	
	英語基準コース (生命の仕組みと医療)	日下部 りえ	
	コンピューテーショナルインテリジェンス特論	井上 敦	
	中国文学及文学史 A 講義	好並 晶	東アジア文化研究科
	中国文学及文学史 B 講義	好並 晶	
	中国哲学及哲学史 A 講義	大形 徹	
	中国哲学及哲学史 B 講義	大形 徹	
中国語学及語学史 A 講義	大岩本 幸次		
中国語学及語学史 B 講義	大岩本 幸次		
中国学研究 (2) A 講義	小野 真龍		
中国学研究 (2) B 講義	小野 真龍		
中国文献学 A 講義	原田 信		
中国文献学 B 講義	原田 信		
Fundamental Global Study (SDGs and Global Collaboration)	池田 佳子	国際部	
Advanced Global Study (Global Citizenship)	池田 佳子		